

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【公開番号】特開 2005-297362 (P2005-297362A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-042
 【出願番号】特願 2004-117057 (P2004-117057)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 5/30 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 5/30 Z

G 0 6 F 3/12 B

H 0 4 N 1/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 11 日 (2007.4.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の機器とネットワークを介して接続され、前記複数の機器から受信する P D L 形式の印刷データに基づく印刷を実行する印刷装置であって、

前記印刷データを受信する受信手段と、

前記印刷データに基づく印刷を実行するための処理を、該印刷データに施す処理手段と

、

前記処理手段の処理の過程で生成される処理データを、前記ネットワーク上の当該印刷装置を含む機器に内蔵される記憶装置群のいずれかに記憶する記憶手段と、

前記印刷データに対応するイメージデータに、該処理データの前記記憶手段による記憶先を示す識別情報を付加する付加手段と、

前記付加手段によって前記識別情報が付加されたイメージデータを印刷する印刷手段と

、

を備えることを特徴とする印刷装置。

【請求項 2】

前記処理データは、前記 P D L 形式の印刷データを解釈して得られる中間言語データ、あるいは前記 P D L 形式の印刷データに対応するイメージデータである

ことを特徴とする請求項 1 に記載の印刷装置。

【請求項 3】

当該印刷装置内に存在する記憶装置に空き記憶領域がない場合、前記記憶手段は、前記ネットワーク上の当該印刷装置以外の機器に内蔵される記憶装置群のいずれかに、前記処理データを記憶する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の印刷装置。

【請求項 4】

データを記憶する記憶装置と、

前記ネットワーク上の機器から、登録要求を含む前記処理データを受信した場合、該処

理データを前記記憶装置に登録する登録手段と、

前記登録手段による登録対象の前記処理データの登録途中で、該登録対象の処理データを記憶する空き記憶領域がなくなった場合、前記記憶装置に既に記憶されているデータを整理して、該登録対象のデータを前記記憶装置に登録する登録制御手段と

を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載の印刷装置。

【請求項 5】

前記登録制御手段は、前記記憶装置に記憶されているデータの内、古い順にデータを消去して、前記登録対象の処理データを前記記憶装置に登録する

ことを特徴とする請求項 4 に記載の印刷装置。

【請求項 6】

前記登録制御手段は、前記記憶装置に記憶されているデータの内、アクセスの古い順にデータを消去して、前記登録対象の処理データを前記記憶装置に登録する

ことを特徴とする請求項 4 に記載の印刷装置。

【請求項 7】

前記登録制御手段は、前記記憶装置に記憶されているデータの内、一定時間経過したデータ順にデータを消去して、前記登録対象の処理データを前記記憶装置に登録する

ことを特徴とする請求項 4 に記載の印刷装置。

【請求項 8】

前記登録制御手段は、前記記憶装置に記憶されているデータの内、登録日時が古いデータ順に、そのデータに圧縮率の高い圧縮を実行して保存し直して、前記登録対象の処理データを前記記憶装置に登録する

ことを特徴とする請求項 4 に記載の印刷装置。

【請求項 9】

前記登録制御手段は、前記記憶装置に中間言語データとして記憶されているデータの内、イメージデータで保存し直した方が容量の小さくなるデータを検索して、該当データをレンダリングしてイメージデータに保存し直して、前記登録対象の処理データを前記記憶装置に登録する

ことを特徴とする請求項 4 に記載の印刷装置。

【請求項 10】

原稿を光学的に読み取る読取手段と、

前記読取手段で読み取った原稿に前記識別情報が組み込まれている場合、前記識別情報で特定される記憶先から、該識別情報に対応する前記処理データを取得する取得手段とを更に備え、

前記印刷手段は、前記取得手段で取得した処理データに基づく印刷を実行する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の印刷装置。

【請求項 11】

複数の機器とネットワークを介して接続され、前記複数の機器から受信する PDL 形式の印刷データに基づく印刷を実行する印刷装置の制御方法であって、

前記印刷データを受信する受信工程と、

前記印刷データに基づく印刷を実行するための処理を、該印刷データに施す処理工程と

、

前記処理工程の処理の過程で生成される処理データを、前記ネットワーク上の当該印刷装置を含む機器に内蔵される記憶装置群のいずれかに記憶する記憶工程と、

前記印刷データに対応するイメージデータに、該処理データの前記記憶工程による記憶先を示す識別情報を付加する付加工程と、

前記付加工程によって前記識別情報が付加されたイメージデータを印刷する印刷工程と

、

を備えることを特徴とする印刷装置の制御方法。

【請求項 12】

複数の機器とネットワークを介して接続され、前記複数の機器から受信する PDL 形式

の印刷データに基づく印刷を実行する印刷装置の制御をコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラムであって、

前記印刷データを受信する受信工程と、

前記印刷データに基づく印刷を実行するための処理を、該印刷データに施す処理工程と

、
前記処理工程の処理の過程で生成される処理データを、前記ネットワーク上の当該印刷装置を含む機器に内蔵される記憶装置群のいずれかに記憶する記憶工程と、

前記印刷データに対応するイメージデータに、該処理データの前記記憶工程による記憶先を示す識別情報を付加する付加工程と、

前記付加工程によって前記識別情報が付加されたイメージデータを印刷する印刷工程とを備えることを特徴とするコンピュータプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記の目的を達成するための本発明による印刷装置は以下の構成を備える。即ち、

複数の機器とネットワークを介して接続され、前記複数の機器から受信する PDL 形式の印刷データに基づく印刷を実行する印刷装置であって、

前記印刷データを受信する受信手段と、

前記印刷データに基づく印刷を実行するための処理を、該印刷データに施す処理手段と

、
前記処理手段の処理の過程で生成される処理データを、前記ネットワーク上の当該印刷装置を含む機器に内蔵される記憶装置群のいずれかに記憶する記憶手段と、

前記印刷データに対応するイメージデータに、該処理データの前記記憶手段による記憶先を示す識別情報を付加する付加手段と、

前記付加手段によって前記識別情報が付加されたイメージデータを印刷する印刷手段と

を備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、好ましくは、前記処理データは、前記 PDL 形式の印刷データを解釈して得られる中間言語データ、あるいは前記 PDL 形式の印刷データに対応するイメージデータである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、好ましくは、当該印刷装置内に存在する記憶装置に空き記憶領域がない場合、前記記憶手段は、前記ネットワーク上の当該印刷装置以外の機器に内蔵される記憶装置群のいずれかに、前記処理データを記憶する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

また、好ましくは、データを記憶する記憶装置と、

前記ネットワーク上の機器から、登録要求を含む前記処理データを受信した場合、該処理データを前記記憶装置に登録する登録手段と、

前記登録手段による登録対象の前記処理データの登録途中で、該登録対象の処理データを記憶する空き記憶領域がなくなった場合、前記記憶装置に既に記憶されているデータを整理して、該登録対象のデータを前記記憶装置に登録する登録制御手段と

を更に備える。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

また、好ましくは、前記登録制御手段は、前記記憶装置に記憶されているデータの内、古い順にデータを消去して、前記登録対象の処理データを前記記憶装置に登録する。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

また、好ましくは、前記登録制御手段は、前記記憶装置に記憶されているデータの内、アクセスの古い順にデータを消去して、前記登録対象の処理データを前記記憶装置に登録する。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

また、好ましくは、前記登録制御手段は、前記記憶装置に記憶されているデータの内、一定時間経過したデータ順にデータを消去して、前記登録対象の処理データを前記記憶装置に登録する。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

また、好ましくは、前記登録制御手段は、前記記憶装置に記憶されているデータの内、登録日時が古いデータ順に、そのデータに圧縮率の高い圧縮を実行して保存し直して、前記登録対象の処理データを前記記憶装置に登録する。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0015】

また、好ましくは、前記登録制御手段は、前記記憶装置に中間言語データとして記憶されているデータの内、イメージデータで保存し直した方が容量の小さくなるデータを検索して、該当データをレンダリングしてイメージデータに保存し直して、前記登録対象の処理データを前記記憶装置に登録する。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

上記の目的を達成するための本発明による印刷装置の制御方法は以下の構成を備える。即ち、

複数の機器とネットワークを介して接続され、前記複数の機器から受信するPDL形式の印刷データに基づく印刷を実行する印刷装置の制御方法であって、

前記印刷データを受信する受信工程と、

前記印刷データに基づく印刷を実行するための処理を、該印刷データに施す処理工程と、

前記処理工程の処理の過程で生成される処理データを、前記ネットワーク上の当該印刷装置を含む機器に内蔵される記憶装置群のいずれかに記憶する記憶工程と、

前記印刷データに対応するイメージデータに、該処理データの前記記憶工程による記憶先を示す識別情報を付加する付加工程と、

前記付加工程によって前記識別情報が付加されたイメージデータを印刷する印刷工程と

を備える。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

上記の目的を達成するための本発明によるコンピュータプログラムは以下の構成を備える。即ち、

複数の機器とネットワークを介して接続され、前記複数の機器から受信するPDL形式の印刷データに基づく印刷を実行する印刷装置の制御をコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラムであって、

前記印刷データを受信する受信工程と、

前記印刷データに基づく印刷を実行するための処理を、該印刷データに施す処理工程と、

前記処理工程の処理の過程で生成される処理データを、前記ネットワーク上の当該印刷装置を含む機器に内蔵される記憶装置群のいずれかに記憶する記憶工程と、

前記印刷データに対応するイメージデータに、該処理データの前記記憶工程による記憶先を示す識別情報を付加する付加工程と、

前記付加工程によって前記識別情報が付加されたイメージデータを印刷する印刷工程とを備える。